

H29.2.27 「タイムラインに基づく情報伝達訓練」を開催

- 出水時における河川管理者と自治体防災担当者間で円滑な情報共有をおこない、迅速かつ的確な対応ができるよう、ロールプレイング形式により、タイムラインに基づく情報伝達訓練を開催しました。
- 関東・東北豪雨の際の経験を踏まえ、夜間の水位上昇が予測される状況を想定したシナリオで実施しました。
- 今回は涌谷町の防災担当者と北上川下流河川事務所の担当者などが参加しました。



タイムラインに基づく情報伝達訓練

訓練の進行



事務局の事前打合せ



訓練の実施



各班の自己評価



今野副所長による講評

訓練風景



総括班から災害対策室へ、水位の上昇や気象状況等の情報を伝達

支部長代行（副所長）より自治体（涌谷町）へのホットラインを実施



北上川下流河川事務所などから伝達された情報をもとに、町内への避難勧告等の発令範囲を検討

タイムラインと訓練内での行動との整合性などを確認し、現行のタイムラインの課題を抽出

